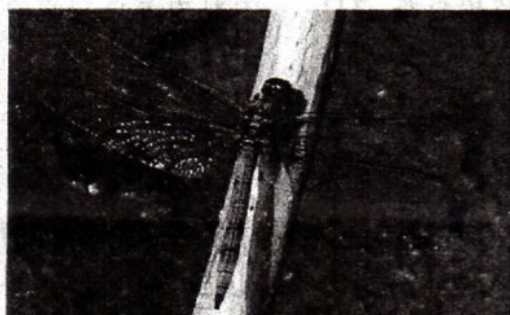


特別地域捕獲禁止から…

昨年来より話があり新聞等でご存知かと思われるが、動物の採集禁止法がいよいよ本格的に動き出したようで下記のような種があがり、6/16 までパブリックコメントを行いその後正式にきまり、続いて第 2 弾の指定があると言う。違反した者は 6 ヶ月以下の懲役または 50 万円以下の罰金である。

捕獲が禁止される種と国立・国定公園	
タイマイ	西表国立公園、沖縄海洋国立公園(豊良間地域)＝沖縄県
アオウミガメ	霧島屋久国立公園(屋久島地域)＝鹿児島県、西表国立公園、沖縄海洋国立公園(豊良間地域)＝沖縄県
アカウミガメ	
オガサワラアイトトンボ	小笠原国立公園＝東京都
オガサワラトンボ	
ミヤジマトンボ	瀬戸内海国立公園(宮島地域)＝広島県
ウスイロヒョウモンモドキ	大山隠岐国立公園(大山隠岐地域＝岡山、鳥取県、三瓶山地域＝鳥取県) 水ノ山後山隠岐山国立公園(兵庫、岡山、鳥取県)
タイウンツバ(メジロミ(本土産種))	西海国立公園(平戸島・生月島地域)＝長崎県
ミヤマシロチョウ	八ヶ岳中標高原国立公園＝長野、山梨県

ミヤマシロチョウ (環境省生物多様性センター提供)



ミヤジマトンボ (広島県提供)

国立・国定公園の特別地域で捕獲が禁止される動物にミヤマシロチョウなど昆虫と両生類計 9 種が指定されることになった。乱獲を防ぐため環境省が規制対象種の選定を進めていたもので、早ければ今夏にも正式に決定、告示される。「ますます昆虫採集する子供がいなくなる」と昆虫愛好家は危惧(きぐ)するが、環境省は引き続き、捕獲禁止にする種を検討していく方針だ。

規制賛否

禁止されるのは、ミヤジ動物の捕獲が禁止されている。マトンボなど昆虫六種と、るが、約七割を占める特別タイマイなどカメ三種。い地域では植物しか規制されずとも環境省のレッドデーでいかなかった。タフクに載った絶滅危惧種。生息地域が開発で減少も動物の捕獲を禁止できるという理由などで指定された。

許さなく捕獲した場合、罰金 10 万円以下の罰金か科されはもつと多いというわさ

国立・国定公園では約一六カ月以下の懲役または五の木村義志さんは「指定種

昆虫研究者や愛好家が集まる「日本昆虫協会」理事

指定を注目していた昆虫ファンのはは複雑だ。

指定を注目していた昆虫ファンのはは複雑だ。

指定を注目していた昆虫ファンのはは複雑だ。

特別地域捕獲禁止 ミヤマシロチョウなど指定へ

子供の興味薄れる ← 総合的な保護図る

があつたので(九種)数は、実効性を考えた「さ」しなからも、較的広い分布の昆虫あれており、一般の人に響くこと話す。

さらに危惧するのは虫採集のイメージが悪ること。木村さんは「採集は自然を知る絶好機会だが、子供が興味本なくなる。絶滅の危懼る昆虫を増やしたい」とは国と「結なので、保全で協力したい」す。

しかし、関係者と、卵と捕獲して、種のチョウを激減させて、一部には悪質なマがいるという。環境省「指定だけでなく、健全な愛好家の理求めている。

六月十六日までパブリックコメント(意見公募)しており、その後、第一して正式に決まる予定後、第二弾以降の指定される見通した。

今のところ蝶は3種であるが、第2弾以降大幅に増えることも考えられる。いずれも愛好者にとっては打撃であるが、一番身近なところにいるミヤマシロチョウの指定について考え調査しているうちに興味あることが判明してきたのでちょっとふれてみたい。

採集禁止について調べるには、1. 日本産蝶類の衰亡と保護 第1集（日本鱗翅学会、1989）
2. 昆虫採集禁止種・地区一覧 関東、甲信越、東海編（むし社、1991）に詳しい。

一口に禁止と言っても①種指定（全国）②県全域、③小地域限定、禁止の3通りがあり、さらに国指定、県指定、市町村指定と複雑きわまりない（いずれの場合も単数、複数あり）罰則規定もあるものないものばらばらであり、周知徹底は勿論のことなんの保護対策も採られておらず放りはなしがほとんどで、ただ禁止あるのみと言うのが実情である

話を今回のミヤマシロチョウ（旧市町村で記述）に戻そう。本種は長野、群馬、山梨県の3県に産するが、そのうち群馬県は②の県指定（1977.4）山梨県は③の県指定で南巨摩郡、中巨摩郡、北巨摩郡、韮崎市（1977.3）であるが、これは県内のほぼ全産地を網羅している。さて長野県であるが愛好者の間では②の県指定と思われており、事実私もそう認識していたが、本種は1.では③上高地（1975.2）のみの県指定である（上高地は別途1952に全昆虫採集禁止となっており、二重指定の強化？か）

2.を見ると先述の本種の上高地（1975.2）の他同じく同年同月の日付で10種の全高山蝶が県指定（全域）とされている。

その後、追従するように茅野市、原村、立科町（芦田、八ヶ野）小諸市が続々と名を挙げた。2.の県指定（全域）が本当ならそんなことはありえないことで、どこかに齟齬があるのではと考えるのが当然である。1.では県指定はタカネヒカゲ、ベニヒカゲ（その後、小諸市が二重指定）クモマベニヒカゲの3種だけで、他の7種（本種の上高地を含み小地域指定）で③である。どちらが正しいかは詳しい調査が必要であるが、どうも2.の記述が一人歩きしているような気がしてならない、今回、国が指定してきた八ヶ岳中信国定公園の特別地域は既指定地の山梨県や長野県では強化の二重指定となるも1.のとおりであれば南牧村、小海町、八千穂村にとっては初指定となるかも知れない。それと先述のように県指定（全域）であるならば各市町村が各々追従する必要性を生じなかったことを思えば1.の記述の方が正しいのではないだろうか、2.のように県指定（全域）であったのならいくら強化といっても国がわざわざ県の下に行く小規模指定をする必要性を感じないからである。仮に何らかの齟齬があって県指定（全域）でないとすれば市町村レベルでもれている富士見町、長谷村、高遠町、小谷村、白馬村、大町市等では国立国定公園の特別保護地域以外では何の不都合もないことになる。これは夢がでてくる推測であるが、どなたかきちんと裏付けを取ってはっきりさせてくれると嬉しい…

* 夏期合宿案内

昨年は忘年会を兼ねた採卵合宿を行いました、今年は例年とおりに夏期合宿を行います。皆さん奮ってご参加下さい。(例年8月でしたが今回は採集のピーク時を狙いました)

* 日時 ; 7月 29日 (土) ~30日 (日)

* 宿泊 ; 小平市の八ヶ岳山荘 (山梨県北杜市高根町清里念場原 3545)

小平市在住の小柴さんが申し込みや手配をいたします。場所は清里に有り、駐車場スペースは十分に有ります。宿泊費は 2食付で 2,550 円です。安価なため豪華な食事は期待できないと思われませんが、持込自由ですので柔軟に対応できます。さらに有志の方の寄進を歓迎いたします。コップなどの備品は借用できませんが幹事が準備いたします。

定員は 18室×4名=72名、で 1室 4人部屋、夫婦の個室は予約できないが、女性専用の部屋は用意出来ますので女性の参加大歓迎いたします (今回は格安ですので若い方の多数参加も期待しております！)

* スケジュール

1・6/30 締め切りで第1次参加受付をします。予約の都合もありここで一旦締めてとりあえず仮予約をします。

2・7/15 締め切りで第1次参加者の再確認と追加受付、7/21 に最終修正手続きを行い参加人員決定、前金制ですので以降キャンセルによる宿泊費の返金は出来ません。

3・雨天決行 (懇親会を兼ねておりますので…) 当日のイベントや採集案内は今後随時固めてまいります。良いアイデアがあればお知らせ下さい。

宿泊費+αも多少あるかと思えます(α=1000円くらいの予定)

参加者に応じて配車、グループを調整いたします。交通費等はグループごとに清算してください。

企画幹事 (申しこみ先)

仲西 ; guizumo@icom.home.ne.jp 03-3397-541 小柴 ; koshibakiyoyuki@yahoo.co.jp
042-327-4321 早坂 ; kouji-h@c3-net.ne.jp 045-823-4430

* 住所変更

塩田忠利 〒104-0055 中央区豊海町 13-6-609

* お知らせ

7月と9月の例会は会場の都合 (祝祭日の関係) により第4火曜日となります。それぞれ7/25、9/26 となりますのでご注意ください。なお、その他の月は平常通りですのでお間違いなきよう宜しくお願い申し上げます。

* 新刊、既刊

羅浮山蝶ゆらり	今井彰	信濃毎日新聞社	¥1800	026-236-3377
虫屋のみる夢	田川研	偕成社	¥1400	03-3260-3221

渡りをする蝶	佐藤英治	新日本出版社	¥1400	03-3423-8402
日曜日の蝶たち	木庭宏	松籟社	¥1600	075-531-2818
小さな蝶たち	西口親雄	八坂書房	¥2000	03-3293-7975

* 新聞紙上より



06.5.16 読売(夕)
ヤエヤマボタル乱舞 *

闇に包まれた森をバックに、繊細な光の軌跡が、幾重にも絡み合う。沖縄県・石垣島の前勢岳(標高197m)の林道沿いの森林地帯で、ヤエヤマボタルの乱舞が最盛期を迎えている。写真、ISO感度10000で1分30秒露光、米山要撮影。午後7時過ぎの日没から約10分。淡い薄緑色の光が空を漂い始めると、森全体に満天の星が降りたような幻想的な光のショーに。乱舞はわずか30分間で幕切れを迎える。

ヤエヤマボタルは体長約5mmと国内のホタルでは最も小さい部類で、同島と、隣の西表島にのみ生息。この時期、オスとメスが光を出し合う求愛行動が最も盛んになる。5月中旬まで続く。